

令和2年10月6日

芦屋市企画部市民参画課
課長 川口 弥良 様

(あしや市民活動センター指定管理者)
特定非営利活動法人あしや NPO センター
事務局長 橋野 浩美

第2回 SDGs を体験しよう！事業名報告書

- 1 日 時：令和2年10月17日（土）13：30～16：30
- 2 会 場：リードあしや 会議室 CD
- 3 担 当：橋野
- 4 参加者：16人（ファシリテーター3人含む）
- 5 講 師：中嶋 雅美（SDGs 公認ファシリテーター）
- 6 事業詳細
 - (1) 目 的：SDGs を学ぶことによって市民活動にどんな変化や可能性をもたらすのか、活動を継続的に、より高めるために何が必要かなどの気づきの場とする。
 - (2) 内 容：地方創生 de SDGs カードゲーム体験
SDGs の考え方を地位の活性化に活かし、地方創生を実現する方法について参加者全員で対話し、考えるためのゲーム
市民（8人）と行政（4人）に役割分担をする。
- 7 アンケート結果：ゲーム参加者12人中 回答11人
 - ・イベントの満足度：満足6人 やや満足4人 普通1人
 - ・開催を知ったのは：ロコミ4人 リードあしやHP等4人
Facebook1人 回答無2人
 - ・受講動機：取り組みを知りたかった10人 回答無1人

【意見】

- ・自分自身に何ができるのか、全体像を理解するのに時間が必要だった。
- ・市内で活動している団体に座日受講を勧めたい。
- ・実践テーマを検討
- ・ジョージ・ソロスやジム・ロジャーズのグリーンビジネスの一端かも？でも体験出来てよかったです。
- ・SDGsのごく一部を勉強できた。
- ・ゲームを通して実際に体験が出来るので、頭で理解するだけではなかなかわからない。
- ・深い学びとなった。実生活で生かせたらと思いました。
- ・自分の希望や目標のみを優先させないように周りを見ることの大切さを感じた。
- ・ゲームを通じて話し合うことで、他の人がどんな価値観や考えを持っているか

知ることができる。現実でも話し合うことがとても大切だと実感できた。

- SDGs について知ることができ良かったが、後10年でどう変えられるのか不安もつもの。
- 対話の出来るコミュニティであることが重要だと思いました。対話してのゴールに向かうことの楽しさを少し感じました。
- 「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」地方創生という戦略にあまり関心が無かったのですが、SDGsが入っているというのも知らなかったです。念願のゲーム体験ができてうれしかったです。まとめて対話と分団というのもよく分かりました。人口減は本当に課題!!
- 中嶋さんステキです（声も話し方も）芦屋で関心のある方が12人も集まって一緒に学べて楽しかったです。是非若い方々に体験していただきたいです。何だかの志を持ってこれからも芦屋のまちのために頑張ろう！っと

8 振り返り

- 2030年までの道のりを3年間12分で完結するのは至難の業ではあるが、コミュニケーションの大切さが分かったとたんに、動きが出てきて、参加者の表情も変わっていく。芦屋の10年後を担う人材となることを希望した。
- 芦屋を担う人材として活かす実践の場を提供するために、リードあしやが取り組むべきことを考える場ともなった。

以上

